

(別紙)

技術提案書作成にあたっての留意事項（第2工区）

	評価項目	評価基準	留意事項	加算点
技術提案	①コスト削減策 (契約時VE) (様式4)	現地条件等を考慮した確実に実現可能な提案で、かつ、コスト削減に寄与する内容となっているかを評価する。	・提案は、次のテーマとする。 ①フーチング施工に係る土留め計画 ・提案に当たっては、コスト削減額(直接工事費、共通管理費、現場管理費、一般管理費 単位:千円)含め詳述すること	4点
	②コスト削減策 (契約後VE) (様式5)	現地条件等を考慮した実現可能な提案で、かつ、コスト削減に寄与する内容となっているかを評価する。	提案テーマは定めない。	4点
	③未発注工種 橋脚(P2~P11) の基礎杭に係る、想定される施工上の課題抽出と課題対応策(設計への反映含む) (様式6)	橋脚(P2~P11)の基礎杭に関し、現地条件等から見出し得る課題に対して、構造物設計に係る鉄道及び道路各基準の双方を満足する構造細目ならびに施工方法に関する提案で、かつ、コスト削減に寄与する内容となっているかを評価する。	・検討の与条件 ①構造物設計は鉄道基準及び道路基準の双方に従うこと ②軌道施設死荷重は、170KN/mとする ③列車活荷重は、1車両あたり600KN/mとする(1車両長は18.7m) ④フーチングは上部工投影面内に設けること ・課題対応策が構造設計に及ぶ場合は、その考え方と根拠を示し構造細目を記述すること	7点
	④工事目的物の品質管理、出来形管理 (様式7)	技術提案による効果について、構造物の特性や現地条件等を考慮して、確実性と重要度に応じて評価する。	品質や出来上がり精度向上のための工夫などを根拠を示し具体的に記述すること	6点
	⑤施工時及び第三者に対する安全対策 (様式8)	現地条件を考慮した技術的な内容が記載され新規技術や優位性のある提案または技術的所見がなされているか評価する。	作業安全確保の他、路面交通への安全配慮及び近接施設に対する安全確保などの具体的な方策を根拠を示し記述すること	5点
	⑥確実な工事進捗管理方策 (様式9)	確実な工事進捗管理に資する技術提案及び工程短縮の実現可能性により評価する。	・特記仕様書に記載の部分使用完成期限に係る工程表を作成し、その根拠及び工程管理の考え方について記述すること ・工程短縮案があれば同様に、工程表を作成しその根拠及び工程管理の考え方について記述すること	4点
施工実績等	入札参加者 (様式10)	適切かつ確実な工事遂行能力を評価する。	・入札説明書記載の施工能力以外に、当工事に類似する実績があれば、その内容を記述し根拠となる資料を提出すること	5点
	技術者 (様式11)	工事内容の理解度や安全管理に関する取り組み姿勢、職責の認識の程度を評価する。	・入札説明書記載の配置予定技術者の能力以外に、当工事に類似する工事实績があれば、その内容を記述し経験を有することが確認できる資料を提出すること	10点

企業 の 信 頼 性 ・ 社 会 性	地域貢献 (様式12)	・市内業者への発注額について、 工事期間中3億円以上を評価す る。	・発注額の予定内訳を確認できる資料を 提出すること	5点
合 計				50点